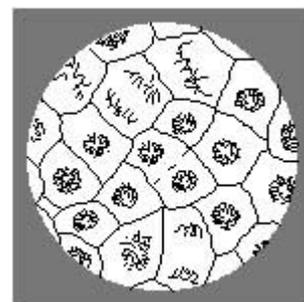


染色液(酢酸オルセイン液と酢酸カーミン液)

以前、「細胞の核を染めるのに使う染色液を答えさせる問題では、酢酸オルセイン液と酢酸カーミン液のどちらを答えさせる方がよいのか。」というお問い合わせをいただいたことがあります。結論から言うと、「どちらでもいい。」となりますが、入試問題の“模範解答”として適しているのはどちらでしょう。

現行の教科書では、1社が「酢酸オルセイン液(または酢酸カーミン液)」, 他4社が「酢酸オルセイン液または酢酸カーミン液」になっています。さらに2007年度の公立高校の入試問題で、問題文に出てくる用語を調べたところ、「染色液」が6県、「酢酸オルセイン液」が3県で、「酢酸カーミン液」は見られませんでした。

細胞に染色液を加えてすぐに観察しても、核はほとんど染色されておらず、よく見ることはできません。そのため、細胞に染色液を加えてしばらくたってから観察しなければいけないのですが、このとき、酢酸オルセイン液の方が酢酸カーミン液よりも早く染色できます。したがって、学校の限られた授業時間の中で観察するのに適した染色液は「酢酸オルセイン液」ということになるでしょう。



指標生物

。

「染色液」6, 「酢酸オルセイン」3, 「酢酸カーミン」0